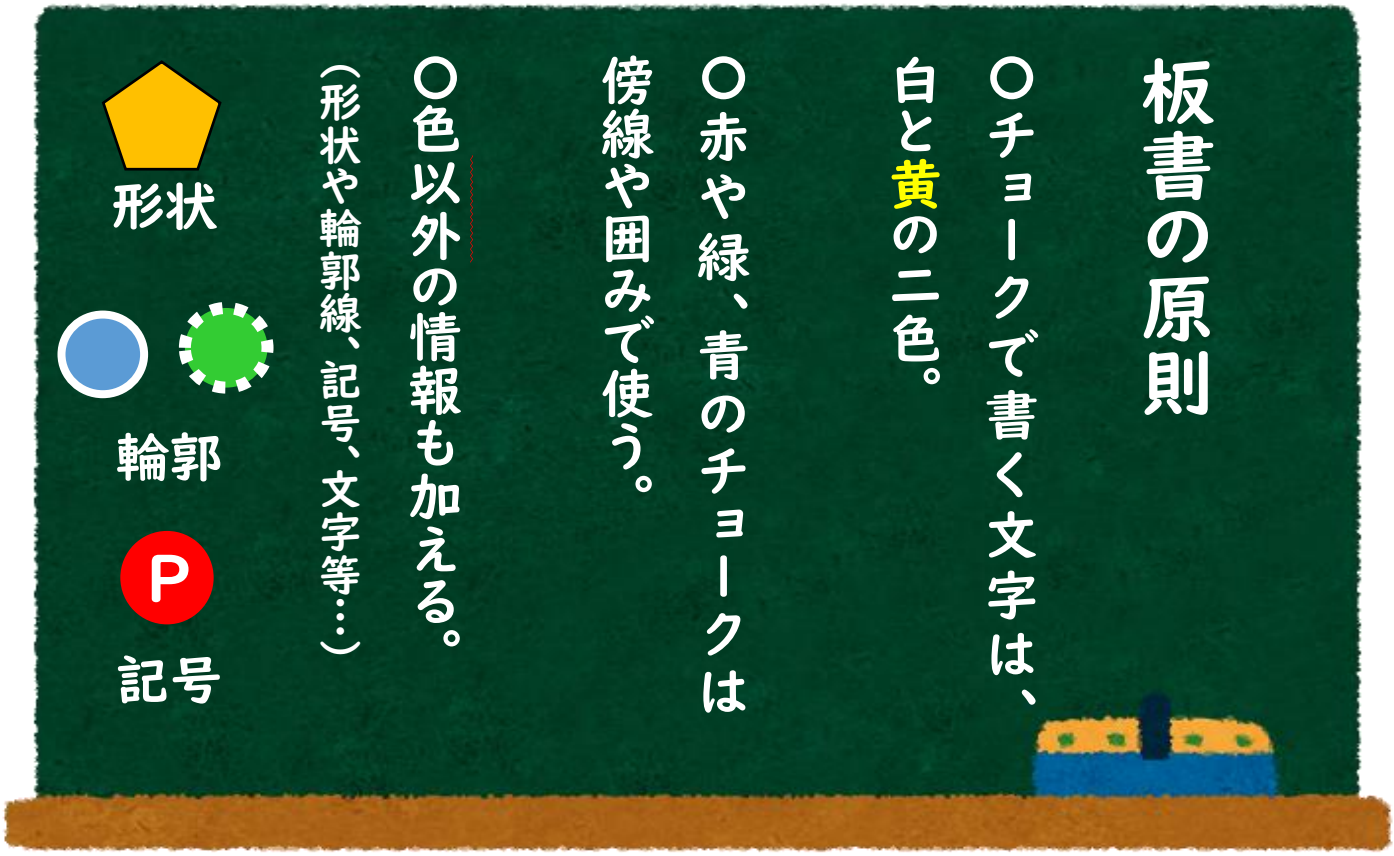
Ｑ６　板書で最初に気を付けることは？

Ａ　　色の使い分けや線の種類等にルールを設けて，生徒と共有しましょう。

「赤いチョークでの文字は見えづらい」ということを聞いたことはありませんか。

広い教室の中で，様々な場所から黒板を見ている生徒は，必要に応じてノートやプリントに書き写していきます。

色使いや記号の形状などの「板書のルール」を，生徒と共有し，わかりやすく学習内容が伝わる工夫をしましょう。



Ｑ７　学習内容が定着する上手な板書のポイントは？

Ａ　「正確性」「明確性」「計画性」「持続性」「再現性」を意識した板書づくりです。

板書は，生徒の理解を定着させたり，考えを深めたりする手助けをしてくれます。
「正確性」は，丁寧な文字や定規を使った線で，見やすく読みやすくします。
「明確性」は，カードを用いて重要語句などを示します。
「計画性」は，ノート１ページと板書１枚が整合するようにあらかじめ仕組みます。
「持続性」は，消したり，急に追加したりして戸惑わないようにします。
「再現性」は，学習内容を振り返れるようにします。

見やすく読みやすい文字で書いて！ — 正確性

ポイントを分かりやすく示して！ — 明確性

ノートは見開き１枚で終わらせて！ — 計画性

見直したいから消さないで！ — 持続性

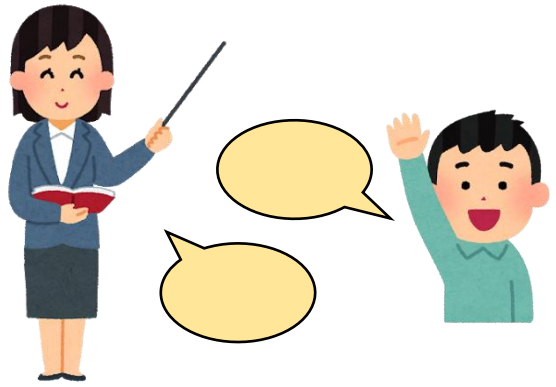
家で振り返りができるようにして！ — 再現性

Ｑ８　黒板を使うよさは何か？

Ａ　「視覚的機能」と「記録的機能」を活かした「ライブ感」あふれる授業づくりができます。

教師の巧みな話術と，生徒による発表だけでは，授業は成立しません。また，事前に作成されたスライドだけでも十分な効果があがりません。

色や図などを生かした「視覚的機能」と，重要語句や生徒の考えを適切に配置した「記録的機能」を発揮し，思考力や表現力が最大限引き出されるライブ感あふれる授業をつくりましょう。



教師や生徒の「発言」

→どんなに優れた発言も，視覚的に示さなければわかりづらい。

→すぐに消えて，残らない。

準備された「スライド」

→次々と移り変わるスライドは，情報が残らない。

→既定の流れに陥り，「ライブ感」が薄れる。

黒板を使えば・・・

色や図，資料を使って分かりやすく示す！

【視覚的機能】

黒板には，生徒や教師の発言が残る！

【記録的機能】

リアルタイムで思考の流れが見える！

【授業のライブ感】

Ｑ９　めざすべき板書の在り方とは？

Ａ　「思考の作戦基地」となる板書づくりを目指しにしましょう。

「思考の作戦基地」とは，生徒にとって必要な「情報」が整理されたり，「情報」を取り出しやすくしたり，「情報」を使って自分の考えをまとめたりすることができる情報提供の場です。教師が準備した貼りものだけを貼ったり，生徒の発言をただ書き写したりしているだけの「掲示板」として利用していては，その機能を十分に発揮させていません。

「思考の作戦基地」となるような板書を目指します。

生徒と教師の「思考の作戦基地」となる板書

何に迷い，どこで混乱しているのかという問題を明確にする板書

生徒の思考の流れの過程が明確に示された板書

大量の情報を構造的に捉え，比較しやすい板書

既存の知識と，新たな知識を結び付けやすい板書

千葉昇：『板書什則』国士舘大学初等教育学会（2016）
荒木隆：『実践教師の心得長　新しい学力観に基づく指導の基礎・基本』
文部科学省：『色覚に関する指導の資料』(1989)
文部科学省ＨＰ：『子ども達の望む板書』(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/002/005.htm)
陣川桂三：『教育へのまなざし』ぎょうせい（1999）
北尾倫彦 他：『精選 コンパクト教育心理学』北大路書房(2006)